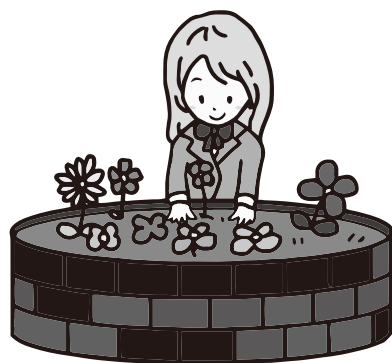
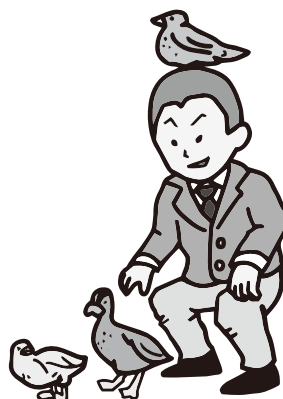
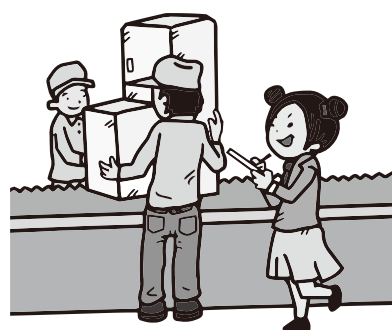
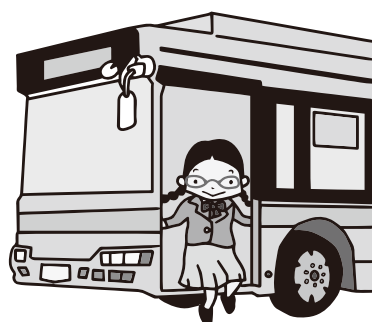




小学校 5年 組 6年 組

名前

おおさか環境科

小学校 5・6 年生

指導の手引き

< 第9版 >



目次

おおさか環境科と指導の手引きについて

1	環境教育の必要性	1
2	「おおさか環境科」の基本的な考え方	1
3	「指導の手引き」(本書)について	5
4	社会「指導計画(第13次試案)」と 「おおさか環境科」対応一覧	6
5	理科「教科書」と「おおさか環境科」対応一覧	7

指導の手引き

1	わたしたちの暮らしと生き物	8
2	環境を守るくらしや産業の工夫	18
3	地球温暖化とわたしたちの暮らし	22
4	エネルギーの上手な使い方	30
5	身近な環境を守る	40
付 録	SDGs(持続可能な開発目標)	48

資 料

NPO・企業からの情報提供	49
なにわエコ会議 環境出前講座一覧表	53

「おおさか環境科」と「指導の手引き」について

1 環境教育の必要性

大阪府は、これまで公害対策やごみ処理、上下水道整備、緑化などを中心にそれぞれの分野で様々な施策を推進した結果、大気汚染の改善、市域のごみ処理量の減少など、一定の成果を収めることができました。しかしながら、地球温暖化をはじめとする環境問題はますます深刻になっており、生物多様性の保全など新たな課題への対応も重要となっています。

環境教育は平成 23 (2011) 年に改正された「環境保全活動・環境教育推進法」をはじめ「教育基本法」「学校教育法」でも位置付けられており、人間性豊かな人づくりにつながる環境教育をなお一層充実させることが益々求められている状況にあります。

さらに、平成23(2011)年3月11 日の東日本大震災は、自然の怖さを再認識するとともに、人の暮らしと自然などの環境との関わりについて、改めて見直す一つの契機となりました。

このような状況を踏まえ、「環境が未来を拓く、環境先進都市大阪」の実現のため、大阪府において、大阪独自の内容で地球温暖化、都市環境保全などの内容を盛り込んだ「おおさか環境科」を作成し、「環境未来型のライフスタイルの創造」を具現化するために学校における実践的かつ根幹的な環境教育を進めていく必要があります。

2 「おおさか環境科」の基本的な考え方

大阪府は、このたび、小中学校の授業のなかで地球温暖化、生物多様性、ごみ減量、都市環境保全など、持続可能な社会づくりに向けた環境教育のための教材「おおさか環境科」を作成しました。

○めざす人物像

人の暮らしと自然などの環境との関わりについて、調べ学習や体験・実践を通して理解し、環境を大切にしながら生きようとする子どもを育てること

○対象

小学校3・4年生、5・6年生、中学生

○対象とした分野、教科

分野は、環境省作成「授業に活かす環境教育」の体系図等を参考に、大阪府が子どもに学習してほしい内容を「生物多様性」「循環」「地球温暖化」「エネルギー」「都市環境保全」の5つに分類しました。

環境教育は、道徳、家庭科など、さまざまな機会で学ぶことができますが、今回の「おおさか環境科」では主に、理科及び社会の学習指導要領を参考にして掲載する内容を選択しました。(→P.2 図 学年別環境学習体系とおおさか環境科の分野)